



会津大学

UBIC

# 産学イノベーションセンター

University-Business Innovation Center



2005

# センター長あいさつ



国立大学の法人化が行われ、多くの国立大学で民間企業との提携が進められています。その連携は組織同士の包括的な提携が多いようですが、焦点が定まらずに成果が出にくいという反省も見られ今後の推移が注目されます。

本学の産学イノベーションセンターは、地域全体との包括的な交流とも言うべき形態で地域との交流を図っています。自治体を持つデータを民間団体でデジタル化し、付加価値をつけて活用を図る計画、会津若松市のベンチャー企業の業務内容を審査し評価する制度などの地域の活動に参加し、より親しみやすいセンターとして活動しています。

一方、社会はユビキタス時代を迎えていますが、現在議論されている対象は、家庭、オフィスの関連が多いです。しかし、更にユビキタス性が進むと、福島県に最も関係のある農業もユビキタスに相応しい仕組みとなるであろうと考えられます。米国の大手半導体メーカーは、ノート型PCの時代の終わりを予測し、高級ワイン向けの葡萄の育成に多数の情報を集めるシステムを構築し、農業のユビキタス化を研究し始めたようです。

このような時代に率先して地域貢献をできるのが、コンピュータ理工学の研究を進めている本学ではないかと考えています。是非、多数の方々のご訪問をお待ちしています。

(角山茂章:会津大学副学長・産学イノベーションセンター長)

## 会津大学産学イノベーションセンター小史

- 1995年 平成7年 7月 会津大学マルチメディアセンターオープン  
面積……1,155平方メートル 建設費……14億円(設備費を含む)
- 1998年 平成10年 7月 新CG制作システム導入
- 1999年 平成11年 6月 体験ルールの整備  
7月 ワークステーションからパソコンベースへセミナールームの環境整備
- 2000年 平成12年 7月 サウンドクリエーションルームの整備
- 2001年 平成13年 10月 3Dシアター及びコンテンツの整備  
11月 CGクリエーションルームの整備  
11月 運動解析ルームの整備
- 2002年 平成14年 4月 会津大学産学イノベーションセンターとしてリニューアルオープン  
8月 セミナールームの整備
- 2004年 平成16年 4月 体験ルールの整備
- 2005年 平成17年 4月 運動解析ルーム・エントランスホール・サウンドクリエーションルームの整備

## 1 設置目的、趣旨

会津大学産学イノベーションセンターは、地域や企業に開かれた産学連携の総合窓口として、企業や起業家からの技術相談や経営相談等に応じ、会津大学教員とのコーディネートを行い、また、会津大学教員の研究内容の紹介や共同研究、各種補助金に関する情報や起業化のための情報等の発信、そして産学連携フォーラムや起業家の支援、経営者育成のためのセミナー等を開催することにより、産学連携を推進しています。

また、研究開発室及び先端システムの有料開放、各種技術セミナーの開催等により、産業の支援を行っています。

## 2 業務内容

### 1.産学連携の推進

#### 研究成果の紹介

- 産学連携に結びつく産学連携フォーラムを実施します。
- ビジネスクリエーションへの参加等、各種フェア・イベントへ出展します。



#### 相談業務

- 相談窓口を開設し、企業や起業家からの技術相談や経営相談等へ対応します。



#### 共同研究の推進

- 産学連携コーディネーターを配置し、共同研究に結びつく産と学のコーディネートを行います。



#### 外部資金の導入

- 国庫等を活用した産学連携推進事業への取り組みを行います。

#### 人材育成

- 起業化支援や経営者育成のためのビジネスセミナー開催を支援します。

#### 知的財産管理

- 知的財産啓発のため、知的財産セミナーを開催します。
- 先行技術調査のため、科学技術文献情報や特許情報を収集します。
- 会津大学教員の研究成果の権利化を図り、積極的な技術移転を推進します。



## 2.マルチメディアの普及啓発

### マルチメディア講習会

- 新たなビジネス展開と地域産業の振興を支援するため、ITに関する各種講習会の開催及び開催の支援を行います。

### 見学・体験

- インターネットや3D立体映像など無料で体験できます。
- センターの設備の一般見学の受け入れを行います。



## 3.産業支援

### 研究開発

- 会津大学教員との共同研究を支援する施設として研究開発室を4室用意しています。
- CG制作機器、サウンド制作機器、運動解析ルーム等、先端的多メディア設備を低料金で利用できます。
- スクリーンを活かした講習会やプレゼンテーションの開催、CGやサウンドの制作、加工、編集、人体の動きのCG化等に利用できます。



## 産学イノベーションセンターの組織

センター長  
(副学長)

兼任教員

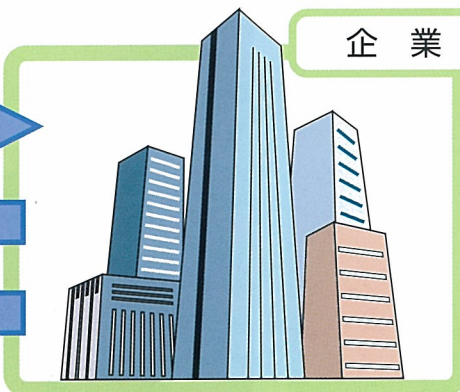
客員教員

産学連携コーディネーター

知的財産管理アドバイザー

事務長

事務担当職員



1.共同研究

2.受託研究

3.奨学寄附金

## 共同研究、受託研究及び奨学寄附金について

### 1.共同研究

共同研究には3つの形態がありますので、企業等の希望に応じて選択することができます。なお、共同研究費の一定額を法人税から税額控除できる税制上の優遇措置が受けられます。

- a 「研究員」と「研究に関する直接経費」を受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究  
費用=直接経費+共同研究員経費
- b 「研究員」のみを受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究  
費用=共同研究員経費
- c 「研究に関する直接経費」のみを受け入れて、本学の研究者が共通の課題について共同で行う研究  
費用=直接経費

### 2.受託研究

企業等からの委託を受けて行う研究で、これに要する直接経費は委託者が負担することになります。また、共同研究及び受託研究費は会津大学学術研究奨励会(会長:会津大学長)が受入れを行います。

### 3.奨学寄附金

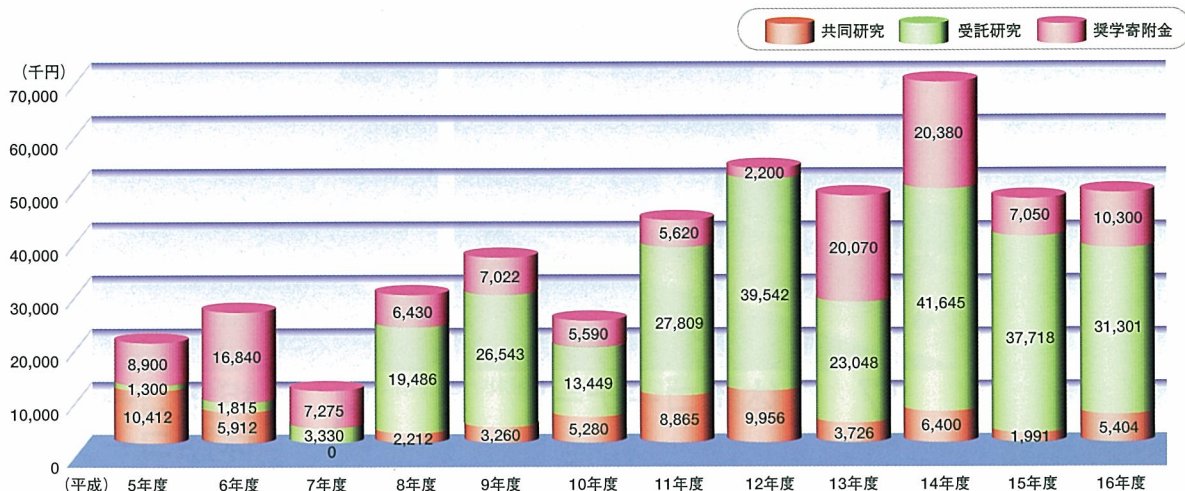
教育及び学術研究の奨励に使用されることを目的に企業等から受け入れる寄附金です。大学設置者である福島県に対しての寄附となるため、企業等が寄附を行った場合、寄附金の全額を損金算入できる税制上の優遇措置が受けられます。

会津大学における共同研究、受託研究及び奨学寄附金の受入れの推移(平成5年度~16年度)

(単位:件、千円)

	平成5年度		平成6年度		平成7年度		平成8年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
共同研究	4	10,412	6	5,912	0	0	4	2,212	4	3,260	7	5,280	9	8,865	11	9,956	7	3,726	6	6,400	2	1,991	7	5,404
受託研究	1	1,300	2	1,815	3	3,330	3	19,486	3	26,543	1	13,449	3	27,809	6	39,542	5	23,048	9	41,645	9	37,718	8	31,301
奨学寄附金	6	8,900	7	16,840	12	7,275	11	6,430	11	7,022	7	5,590	7	5,620	4	2,200	13	20,070	20	20,380	21	7,050	11	10,300
合計	11	20,612	15	24,567	15	10,605	18	28,128	18	36,825	15	24,319	19	42,294	21	51,698	25	46,844	35	68,425	32	46,759	26	47,005

(平成17年2月25日現在)



# 会津大学産学イノベーションセンター施設のご利用案内

情報の収集・蓄積・創出・発信  
研究開発・研修・プレゼンテーション



1 3Dシアター



2 セミナールーム



3 運動解析ルーム



4 サウンド  
クリエーションルーム



5 オーサリング  
ルーム



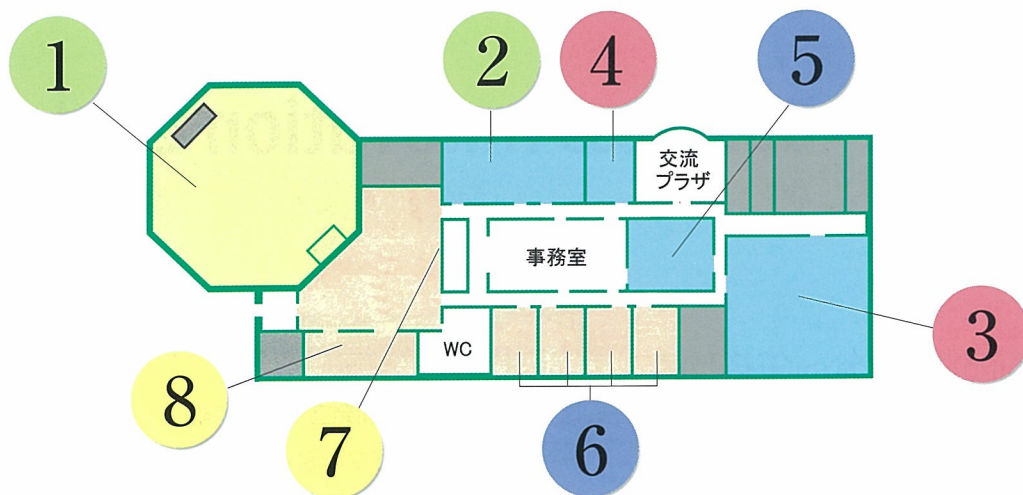
6 研究開発室



7 体験コーナー



8 相談コーナー  
休憩コーナー



## 1 3Dシアター

使用料 1回/21,000円

高輝度高精細液晶プロジェクタ、200インチスクリーン及び10台のスピーカーを使った映画鑑賞やセミナーの開催、その他プレゼンテーションの場としてご利用いただけます。また、「うつくしま未来博」(2001年7月~9月開催)の未来産業館に出品したコンテンツをハイビジョン立体映像と立体音響効果により、迫力ある臨場感が体験できます。(50人程度入場可能)

## 2 セミナールーム

使用料 1回/21,000円

20台のパソコンと50インチ・プラズマディスプレイ3台を使って、インターネット・プログラミング・CG・ホームページ作成・イントラネット・MS Office 等の各種講習会を開催できます。また、センター主催の講習会も開催しています。

## 3 運動解析ルーム

使用料 1回/15,750円

人間の動きをコンピュータにデータとして取り込むことができます。スポーツ技術の向上やリハビリ器具の開発、伝統芸能の保存などにご利用いただけます。また、オーサリングルームにてモーションキャプチャデータの3DCG化ができますので、リアルな動きをつけたアニメーション等の制作もできます。

## 4 サウンドクリエーションルーム

使用料 1回/1,050円

コンピュータを使って作曲、録音、編集ができ、作品をサウンドファイルやDAT、CD-Rに保存できます。マルチメディア・コンテンツに必要な音響を制作したり、オリジナルCDを作成することができます。

## 5 オーサリングルーム

使用料 1システム1時間/270円

3DCG制作、2DCG制作、ノンリニア編集、DVDオーサリング、アニメーション制作、DV編集、2DCG制作編集、モーションキャプチャデータの3DCG化、3Dスキャナによるモデリングデータ収集などが可能です。

## 6 研究開発室

使用料 1室1年/420,000円

産学連携の拠点として、研究開発室が4室用意されています。センターに設置されているさまざまな最先端機器を使用できることはもちろん、会津大学教員と共同研究を行うなど、充実した研究開発環境を整えることができます。  
面積:24㎡(幅4m×奥行6m)机、椅子、電気、水道、ネットワーク、内線電話等を完備

## 7 体験コーナー

使用料 無料

マルチメディアにさわって楽しく体験できるコーナーです。インターネットはもちろん、会津大学教員の研究紹介やセンターのユーザーが制作した作品を見ることができます。

## 8 相談コーナー・休憩コーナー

使用料 無料

技術相談や共同研究の打ち合わせ、あるいは情報交換や休憩等にご利用いただけます。

# University-Business Innovation Center

## 開館時間

午前8時30分～午後5時  
(夜間利用承ります。要予約調整)

## 施設使用料

研究開発室 1室1年 420,000円

研究開発室以外の施設

3Dシアター 1回 21,000円

セミナールーム 1回 21,000円

運動解析ルーム 1回 15,750円

サブクリエイションルーム 1回 1,050円

オーサリングルーム 1システム1時間 270円

## 休館日

土曜日、日曜日、  
祝祭日、年末年始  
(研究開発室利用者は24時間利用可能)

## 無料コーナー

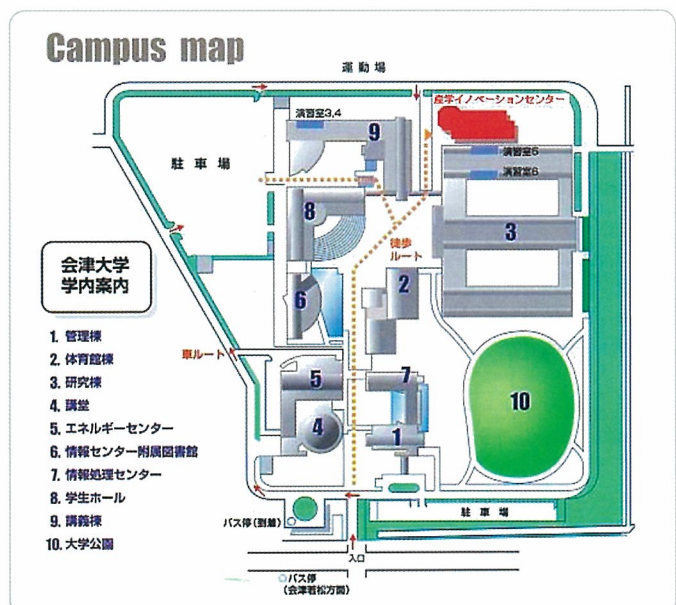
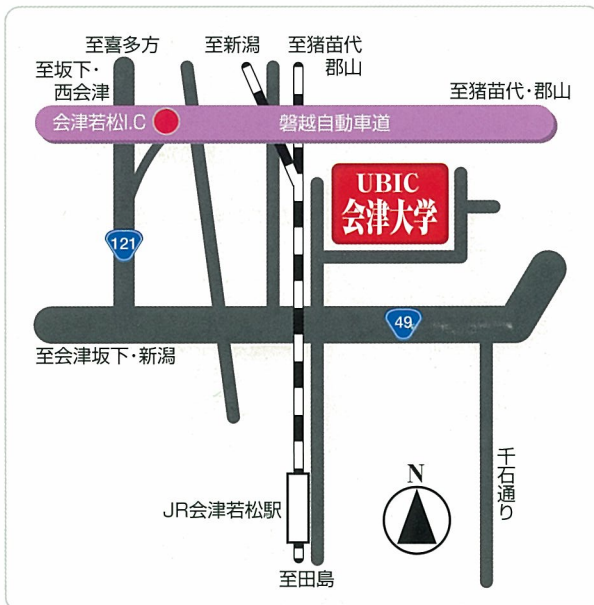
一般見学  
3D立体映像上映  
ハイビジョン等上映  
インターネット体験など

※使用単位中「1回」とあるのは、  
次に掲げる時間のそれぞれの使用です。

1 8:30～12:30

2 13:00～17:00

3 17:30～20:30



お問い合わせ先

## 会津大学産学イノベーションセンター

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合90番地

TEL 0242-37-2776 FAX 0242-37-2778

URL:<http://www.ubic-u-aizu.pref.fukushima.jp>

E-Mail:[ubic-adm@ubic-u-aizu.pref.fukushima.jp](mailto:ubic-adm@ubic-u-aizu.pref.fukushima.jp)